

## 肺癌登録合同委員会 第7次事業： 2010年肺癌手術症例の全国登録調査

当院は、上記事業に参加します。

当院呼吸器外科では、2010年に当科で肺癌に対する外科治療を受けられた患者さんの診療情報を肺癌登録合同委員会第7事業に登録し、全国及び国際共同研究に貢献する予定です。個人情報管理は厳重にしておりますので、ご理解をお願いします。

ただし、事業と研究への参加を拒否される場合はご連絡下さい。拒否の申し出のある患者さんの診療情報は登録致しません。

ご協力よろしく願いいたします。

桐生厚生総合病院 呼吸器外科  
田嶋公平  
八巻英

### 2010年肺癌手術症例に対する登録研究

#### 1) 対象となる方

2010年1月1日から2010年12月31日までの間に、原発性肺癌に対して手術を受けた全ての患者さんが対象となります。

#### 2) 目的

原発性肺癌は本邦における死因の第1位であり、日本国民の健康福祉の向上のために治療成績の向上が求められています。原発性肺癌の治療には外科治療、化学療法、分子標的治療、免疫治療、放射線療法などがありますが、根治のためには外科治療が必須です。外科治療の成績の更なる向上のためには、大規模なデータベースによる治療成績の把握により、外科治療の適応や術式の妥当性が検討される必要があります。

日本肺癌学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器内視鏡学会の4学会が合同で運営する肺癌登録合同委員会は、日本の肺癌診療の診療成

績を把握するため、定期的に全国の施設に協力を求めて、大規模データベースを構築してきました。肺癌登録合同委員会は、今回、第7次事業として2010年の原発性肺癌外科治療症例の後ろ向き登録を開始することになりました。登録症例の解析結果をもとに、最新の肺癌治療成績を把握し、今後の肺癌診療に活かしていく予定です。また当事業の症例データベースは世界肺癌学会の国際データベース事業とも共同して、国際対癌連合（Union internationale contre le cancerあるいはThe Union for International Cancer Control、略してUICC）によるTNM分類の改定にも貢献する予定です。

### 3) 方法

対象となる患者さんの診療情報を、インターネットを介したオンラインにて登録します。個人情報について、サーバー上で生年月、性別のみ管理し、それ以外の個人情報に関しては各施設のカルテ番号と肺癌登録番号で紐付けされ、対比表と呼ばれる暗号化されたファイルにて管理（連結可能匿名化）されますので患者さん個人の特定はできない仕組みになっています。

本登録は、日本呼吸器外科学会、日本肺癌学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会のホームページで登録事業を公開します。

#### 肺癌登録合同委員会のホームページ

URL: <http://haigan-touroku.jp>

### 4) 個人情報の取り扱い

患者さんの氏名やカルテ番号など個人を識別できる情報は登録しませんので個人情報が外部に漏洩することはありません。

### 5) 参加を拒否する権利

肺癌登録合同委員会第7事業への登録を希望されない方は、主治医にお申し出ください。

肺癌登録合同委員会 委員長：

吉野 一郎（千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学教授）

肺癌登録合同委員会 事務局：

奥野 明之進（大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学教授）